



低炭素杯2014 報告書

2014年3月
低炭素杯 2014 実行委員会



低炭素杯2014



低炭素杯とは…

次世代に向けた低炭素社会の構築を目指して、全国で様々な草の根活動が展開されています。各地で活動する学校・有志・NPO・企業などの方々が、その優れた活動をプレゼンテーションを通じて発信し、様々な方々との交流を深め、学び合い、連携の輪を広げていくのが「低炭素杯」です。

低炭素杯 2014 では、全国津々浦々、北は北海道から南は沖縄まで各地域からエントリーされた 1,620 団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた 41 団体から持続可能な低炭素活動の日本一を決定しました。

[日 時] 2014年2月14日(金)13:00～17:30

2月15日(土)13:00～17:00

[会 場] 東京ビッグサイト会議棟7階(国際会議場)

[主 催] 低炭素杯2014実行委員会(委員長:小宮山 宏)

[共 催] 株式会社LIXIL、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

[特別協賛] キリン株式会社、日本マクドナルド株式会社、公益財団法人損保ジャパン環境財団、レモンガス株式会社、株式会社タカラトミー

[特別協力] 株式会社オルタナ、特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク、木原木材店(北はりま小径木加工センター)、
有限会社モミヂヤ、野洲麻紙工房、プリティッシュ・カウンスル

[後 援] 環境省、プラチナ構想ネットワーク

[事 務 局] 低炭素杯2014実行委員会事務局(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

主 催 低炭素杯2014実行委員会
(委員長:小宮山 宏 プラチナ構想ネットワーク会長)

共 催 
Link to Good Living

 一般財団法人
セブン-イレブン記念財団


Japan Network for Climate Change Actions

特別協賛 



公益財団法人 損保ジャパン環境財団



特別協力 




有限会社モミヂヤ

野洲麻紙工房



後 援 

 プラチナ構想ネットワーク

はじめに

次世代に向けた低炭素な社会を構築するため、低炭素杯は2011年に生まれました。学校・家庭・有志・NPO・企業などの多様な主体が全国各地で展開している地球温暖化防止に関する地域活動を報告し、学びあい、連携の輪を拡げる「場」を提供するため、4回目となる「低炭素杯2014」の開催のため、実行委員会(委員長：小宮山宏)を組織して開催の準備を進めてきました。

くしくも、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が2013年9月にとりまとめた第一作業部会報告によると、20世紀半ば以降に観測された気候変動は、人間活動の影響が主要な原因である可能性が極めて高い(95%以上)ことが示されました。

世界の平均気温についての観測結果から、気候システムの温暖化には疑う余地がなく、1950年代以降に観測された変化の多くは、過去数千年の間では前例のないものとなっていることが明らかにされました。

こうした新たな科学的知見が明らかにされた重要な時期に、全国から1,620団体のエントリーから選ばれた41団体が参加する「低炭素杯2014」が、大雪のなかにもかかわらず多くの方々の参加を得て2014年2月14日及び15日に開催されました。

ご参加頂いた方々からは、いずれの活動もそのレベルが上がっているとの高い評価を頂きました。特に、これまで見られた直接的な二酸化炭素の削減活動だけでなく、ノーマライゼーションを含めた社会性、すなわち少子高齢化なども含めた社会的観点を種々組み合わせ合わせた活動が将来に向けてより期待される時代を迎えたことを予感させ、新しい低炭素杯の幕開けとなりました。

今回も株式会社LIXIL様、一般財団法人セブン-イレブン記念財団様をはじめとする多くの団体・個人の皆様の多大なご支援をいただき開催することができました。ご参加いただいた多くの方々に感動と元気を持ち帰っていただくことができましたことは、何よりご支援をいただいた皆様及びご出場団体のご関係者の熱意とご努力の賜物であったことは言うまでもありません。心より感謝申し上げます。

そこで、皆様のご支援・ご努力に僅かでも報いるため、低炭素杯2014の経緯や内容を可能な限りお伝えすることを目的に報告書を取りまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。

何とぞ、今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
(低炭素杯2014 実行委員会 事務局)
専務理事・事務局長 菊井 順一